

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	脳外科手術における光線力学的診断薬投与に伴う低血圧の発生状況と使用麻酔薬の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 麻酔蘇生科 (職名) 助教 (氏名) 関谷 慶介
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2025 年 9 月 31 日
対象	2023 年 4 月から 2025 年 4 月までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち脳外科手術で脳腫瘍摘出を行った成人手術患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、身長、体重、病名、術式、術前合併症、手術時間、術中輸液量、術中出血量、尿量、術中の昇圧薬の使用量、術中麻酔薬の使用量、術中の低血圧の時間割合、手術終了から覚醒までの時間、術後合併症の発生、ICU での輸液量、尿量、術後生存期間
研究の概要	脳外科の腫瘍の手術に光線力学的診断薬と言われるお薬が使われるようになりました。これにより腫瘍の範囲がより詳しくわかるようになってきました。しかしお薬の投与から手術中に低血圧が起こる事例が報告されています。できるだけ血圧の低下を防ぐため、相互作用の少ない新しい麻酔薬であるレミマゾラムというお薬を使用し、術中の血圧低下を防ぐことができるかという研究を行うことといたしました。この研究の結果により術中のより適正な薬剤使用方法を見直すことを目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として

	倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院麻酔蘇生科 関谷 慶介 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5383